



「特定非営利活動法人
NGO多文化共生協働センター・川口」
～多文化共生社会の実現に向けた街づくり～

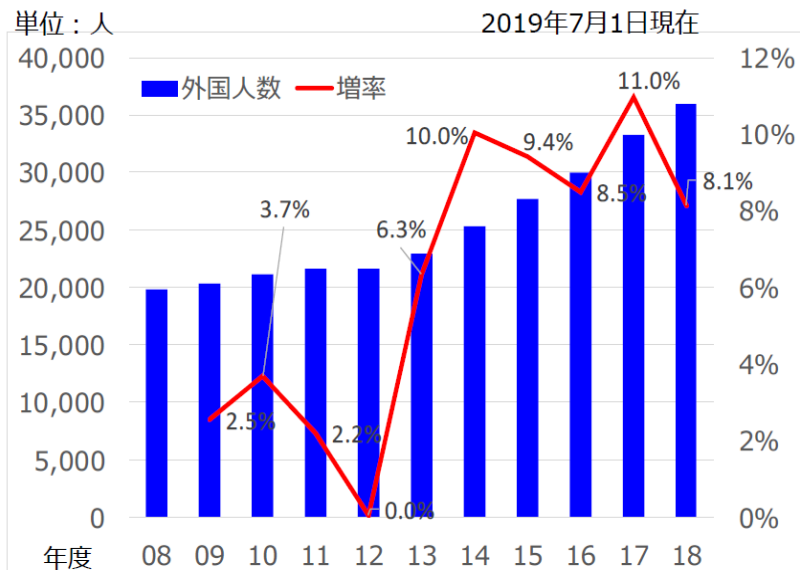
2019年12月1日

川口市に住む外国人について

<統計でみる川口市の外国人>

- 1 川口市に住む外国人は毎年増え、2013年以降は急増している。
- 2 川口市在住外国人の半数以上は中国人。次はベトナム人で近年増加している。
- 3 外国人在住数は区市町村単位では、川口市は第3位。
- 4 年齢構成で見ると、川口在住外国人は10代～20代が多い。日本人は半数以上が40歳代以上で、年齢構成は全く異なる。

1 川口市の外国人推移と増率



3 在住外国人総数上位10自治体



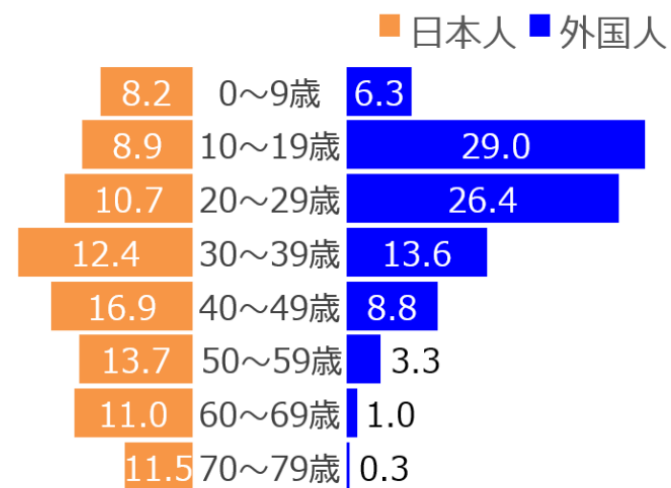
2 外国人の国籍別内訳

2019年7月1日現在

国籍	人数(人)	比率
1 中国	21,851	58.7%
2 ベトナム	3,567	9.6%
3 韓国	2,810	7.5%
4 フィリピン	2,559	6.9%
5 トルコ	1,239	3.3%
6 その他	5,230	14.0%
合計	37,256	100%

4 年齢構成の分布

2019年7月1日現在




外国人と共に生きる社会を目指すには

多文化共生とは
国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと
(総務省 多文化共生推進委員会2006)

川口市として多文化共生の指針を出しています

《川口市の基本理念》 第2次川口市多文化共生指針より
～日本人住民と外国人住民の多様性を活かした
元気な川口のまちづくり～

《施策展開》

- 
1. コミュニケーション支援
 2. 生活支援
 3. 多文化共生の地域づくり
 4. 地域活性化やグローバルへの貢献

具体的なアクションとして、“多言語ボランティアの増員”などに取り組んでいます。

ー大切なポイントー

1. 「外国人の問題」ではなく、「私たちの問題」として考える
2. 文化的多様性は「国籍」や「人種」ではとらえられない

●しかし美しい理念だけでは済まない、厳しい現実があるのも事実です。
多文化共生を進めるうえでは、大きく『3つの壁』があります。

【多文化共生を阻む3つの壁】

ことばの壁	適切な情報伝達やコミュニケーションを図ることができない
制度の壁	制度を知らないため、生活する上で必要なサービスを知らない、受けていない
こころの壁	国籍や文化、生活習慣の違いから、日本人・外国人住民双方が積極的な関わりを避ける



ー壁に起因する様々な問題ー

- 子供たちの教育の問題
- 医療や福祉の問題
- “ごみ出し”や“騒音”など、生活マナーやルールの問題 など

教育や行政のサービスを十分に受けられない

特定非営利活動法人NGO多文化共生協働センター・川口の活動概要

代表者:峰久 節子

住所:埼玉県川口市戸塚東3-39-29

会員数:23名

設立:2011年5月1日

団体の目的:

文化的背景の異なる在住外国籍の人達の自立支援の他、行政をはじめ関係機関、諸団体などと連携し、協働の事業を促進させ、共生社会実現に向けた「まちづくり」に貢献する。

主な活動状況

1. 日本語教育の推進

- (1) 西川口日本語ひろば
- (2) 川口市立高校（定時制）外国人のための日本語指導

2. グローバル教育の推進

- (1) 盛人大学国際コース
- (2) 多文化共生シンポジウム実行委員会
- (3) クルドを知ろう
- (4) インドネシア青少年日本文化スタディツアー
- (5) 日本語国際センター交流
- (6) アラブイスラーム学院との協定

(7) 見学会実施

JICA地球ひろば

(8) イベント参加

- ①第5回盛人Happy Lifeフェア
- ②第2回フェアトレードフェスタ川口
- ③ボランティア見本市
- ④川口市青少年ボランティアスクール

3. 日本伝統文化の継承活動

着物リメイク教室



西川口日本語ひろば

日本語と生活の学習の場である

共に生きる
多文化共生社会の構築に寄与する

川口市 盛人大学内

代表 青木 克浩



西川口日本語ひろば



盛人大学国際コース

多文化共生シンポジウム実行委員会

多文化共生シンポジウムを開催しました

2019年10月6日（日）に川口市民パートナーズステーション



多文化共生について
みんなで考えよう!
in 川口!

第1回多文化共生シンポジウム

日時 2019年10月6日(日) 14:00~17:00
(開場 13:30)

- 東京女子大学の石井教授をはじめ、ジャーナリスト、行政書士、企業経営者、大使館職員など、多彩な方々に参加頂き、様々な視点から多文化共生について考察を行いました。

《多文化共生のシンポジウム内容》

- ◆講演 : 石井 恵理子 (東京女子大学教授)
- ◆パネルディスカッション
コメンテーター : 石井 恵理子 (東京女子大学教授)
パネリスト : 大島 隆 (朝日新聞政治部次長)
大塚 香織 (フェロー-行政書士事務所代表)
川田 一 (川口市市民生活部協働推進課多文化共生係長)
廣瀬 進治 (株式会社日環サービス代表取締役)
フラート バンタン (レバノン共和国大使補佐)
- コーディネーター : 青木 克浩 (NGO 多文化共生協働センター・川口 副理事長)

川口 多文化共生シンポジウム

Multi-cultural Coexistence Symposium
川口 多文化共生シンポジウム
特定非営利活動法人 NGO多文化共生推進センター・川口



インドネシア青少年日本文化スタディツアー





日本語国際センター交流





アラブイスラーム学院訪問

フェアトレード & リメイク





平成30年度埼玉グローバル賞受賞

「私と小鳥と鈴と」 金子みすゞ

わたしが両手をひろげても、お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥はわたしのよう、地面（じべた）をはやくは
走れない。

わたしがからだをゆすっても、きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴はわたしのよう、たくさんうたは知らない
よ。

鈴と、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんな
いい。



ご清聴ありがとうございました